公表　事業所における自己評価結果

事業所名	つくし学園

公表日 R7年2月3日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・法律上の基準は満たしていますが、整理整頓を心がけ、できるだけ広くスペースを確保できるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	6	・こどもの状況や、特性に合わせて職員の配置や動き等を考えながら支援しています。	・法令上の配置基準は満たしていますが、在籍しているこどもの状況(配慮が必要な利用者が多い、個別の見守りが必要な場合が多い等）に合わせて、職員を増員することも検討してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・絵カードや写真を使い、こども達が視覚的に理解できるようにしています。 ・障害特性に配慮した環境構成を心がけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日清掃、消毒をしています。 ・活動内容によって、必要なスペースを確保するようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	0	・空き部屋があり、個別の支援や対応ができるように環境を整えてあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・年間の目標を設定し、評価しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・評価表の内容をもとに、改善策について話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・定期的な会議や、事業所向け自己評価をもとに話し合いをもち、適宜業務改善につなげるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・今後必要に応じて、実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・職員の資質向上を図るため、積極的に研修の機会を作っています。 ・職場内研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	0	6		・今年度中に公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・保護者との面談等を通じて、ニーズの把握に努めています。 ・職員間で話し合いをした上で支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・定期的にケース会議を行い、共通理解を図りながら、職員間で支援方法等を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援に携わる職員全員が支援計画の目標、手だてを把握し、共通理解のもとで支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・標準化されたアセスメントツールや行動観察等のアセスメントツールを使用してこどもの状況を把握しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ご家族の希望やアセスメント内容等を踏まえ、個別支援計画を作成し、保護者に説明同意を得て支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・職員全員で話し合い、こどもの発達や特性に合わせたプログラム内容にしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・活動プログラムに偏りがないように設定しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別活動と集団活動を内容に盛り込み、一人一人に応じた支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎朝打合せを行っています。 ・状況に応じて臨機応変に対応出来るように随時相談しながら進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	・一人一人の記録をつけて、日々振り返りを行っています。 ・気になる点は、クラスや施設全体で相談する等情報共有に努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎日個別日誌にその日の様子を記録しています。 ・何かあった時には、その都度担任同士で話し合い、必要に応じて責任者に相談しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・チェックシート等を用い、個々の状況の把握に努めています。 ・保護者の同意を得た上で、見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・こどもの状況に精通した職員が参画するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて関係機関と連携がとれるようにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・保護者に承諾を得た上で、併用している施設と情報交換を行ったり、転園の際には申し送り書を作成する等して情報の共有に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・保護者に承諾を得た上で、移行支援シートを作成して情報の共有を行っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	0	・土浦市内の保育所、認定こども園、障害児通所施設等に勤務する保育士、児童指導員等を対象とする療育支援研修会を実施しています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	・定期的に専門職による訪問支援を受けています（言語聴覚士や県立あすなろの郷等）。 ・職員は積極的に研修会等に参加するようにしています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0	・施設長が出席しています。	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・地域の保育所と交流保育を実施しました。	・今後も継続して交流保育を実施していけるように努めてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時や連絡帳、面談を通じて共通理解に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・個別面談等を通じてこどもの理解、対応方法について、保護者と共有するよう努めています。 ・土浦市こども包括支援課の協力のもと、ペアレント・トレーニング講習会を実施しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時や面談時等に資料を用いて、保護者と確認し合いながら丁寧に説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6	0	・定期的に面談を実施し、保護者の意向を確認するようにしています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・年に2回、支援計画とその評価を作成し、面談時に説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・面談では、こどもの様子を伝えるだけではなく、保護者の心理状況にも配慮しながら相談に応じるように心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・親の会の活動について職員がサポートしています。今年度は研修会や座談会を開催しました。	・きょうだいへの支援に関しては、今後検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・申入れがあったときは、すぐに情報を共有し対応しています。 ・相談においても迅速な対応を心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月園だよりを作成し配布しています。 ・行事についての案内は、案内文やスケジュール表等を作成し配布しています。 ・緊急時には、電子メールでの連絡を実施しています。	・現状は紙文書での通知が基本となっています。 ・HPやSNS等の活用については、今後検討してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・守秘義務を順守しています。 ・こどもに関する情報は、個別にファイルを作成して、鍵のかかる場所に保管しています。 ・資料等を作成するパソコンはパスワードを設定し、また鍵をかけて持ち出しが出来ないようにしています。 ・関係機関への情報提供は、保護者に書面にて承諾を得て行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・分かりやすい言葉かけや視覚的な手がかり（絵カード、メモ等）を用いてコミュニケーションを取るようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・感染症予防等の観点から、現在地域住民の方との交流は控えております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・それぞれマニュアルを作成し取り組んでいます。 ・年に1回、不審者侵入を想定した訓練を行っています。 ・感染症対応として職員研修を実施しています。	・各種マニュアル等を掲示しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・毎月1回火災、地震等を想定して避難訓練を実施しています。また、年に1回引き渡し訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握し、職員間で共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約時に食物アレルギーの有無を保護者へ確認しています。 ・食物アレルギーのあるこどもには、医師の指示書に基づいて給食（除去食）対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画を作成し掲示しています。 ・遊具の安全確認や定期的な点検を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットの事例が発生した時は、ヒヤリハット報告書を作成して、事業所内で共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止の研修を実施しています。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束適正化指針に基づき対応しています。 ・やむを得ず身体拘束を行う場合には、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で行うようにし、個別支援計画にも明記します。	